

みんなが大人になったとき、どんな世界になっていたらよいでしょうか？

2030 年に向けて私たちにできること

SDGs は地球環境やすべての人々を大事にしながら、地球上のみんなが快適な人間活動ができるように協力していこうという目標です。17の目標はそれぞれ別々に取り組むものではなく、バランスを取りながら同時に取り組んでいくものです。

そして、一人ひとりが「自分のこと」としてとらえて、毎日の生活の中に自分ができることをできるだけ取り入れて行こうとすることが大切です。

●いくつかの目標の取り組み例

	1 貧困をなくそう	・世界ではどんな食事をどれくらい食べているのか調べて、自分がふだん食べている内容や量と比べてみる。 ・貧しい人を思いやり、相手の立場に立って考えてみる。
	2 飢餓をゼロに	・食材や食品は、食べ切れる量だけを買うようにして、食べられるのに捨てられる食品、いわゆるフードロス減らす。 ・農業を盛んにするとともに大切に作る。
	6 安全な水とトイレを世界中に	・水道の蛇口をこまめに閉める。 ・風呂の水を水まきや洗濯に再利用する。 ・途上国の飲み水やトイレを作る活動に寄付する。
	10 人や国の不平等をなくそう	・差別があると思ったら、すぐに周りの大人に知らせる。 ・いじめをしない、させない。 ・ハンデのある方を見かけたら、助ける。
	12 つくる責任つかう責任	・えんぴつや消しゴムをできるだけ最後まで使う。 ・環境に配慮した商品（エコな商品）を使うようにする。 ・簡単な包みの品物を選んで買うようにする。
	13 気候変動に具体的な対策を	・二酸化炭素を出さない暮らしに変えるために、再生可能エネルギーの利用や電気自動車、自転車の使用を考える。 ・大量消費をあらためる5R を心がける。
	14 海の豊かさをまもろう	・マイバッグやマイボトルを利用し、プラスチックごみを減らす。 ・認証マークが付いた商品積極的に購入する。 「認証マーク」海のエコラベル MSC 認証など
	17 パートナーシップで目標を達成しよう	・環境に良い取り組みを行っている企業の商品を買う。 ・SDGs に関係しそうな情報を自分で調べてみる。 ・SDGs に関するイベントなどに参加してみる。

ここにあることは取り組みのほんの一例にすぎません。みなさんが SDGs についてさらに調べて、自分にできそうなことを考えて取り組んでみましょう。

SDGsってなあに？

令和 8 年 8 月作成
群馬県環境サポートセンター
環境学習シリーズ資料 NO.5



SDGs（エスディー・ジーズ）って聞いたことはあるけれど、何のことだかあまりよく分からないというみなさん、SDGs（エスディー・ジーズ）とは何のことだかここで少し学習してみましょう。

言葉について

Sustainable

サステナブル

持続可能な

Development

ディベロップメント

開発

Goals

ゴールズ

目標

SDGs とは「持続可能な開発目標」

持続可能な…今だけでなく、ずっと続けていくことができること

開発……自然や知識を利用して人間の役に立つ新しいものを作りだすこと

つまり、

「世界中のだれもが、きれいで、
住みよく、平和な地球で
安定して暮らし続けられるよう
に考えられた国際的な目標」

のことです。



SDGs バッジ

群馬県環境サポートセンター

（ホームページ <https://ecogunma.pref.gunma.jp/>）



〒 371-8570 前橋市大手町一丁目 1 番 1 号
TEL 027-226-2827 FAX 027-223-0154
E-mail: ecosusumu@pref.gunma.lg.jp



2030年に向けて世界が合意した、SDGsの17の目標

	貧困をなくそう		人や国の不平等をなくそう
	飢餓をゼロに		住み続けられるまちづくりを
	すべての人に健康と福祉を		つくる責任　つかう責任
	質の高い教育をみんなに		気候変動に具体的な対策を
	ジェンダー平等を実現しよう		海の豊かさを守ろう
	安全な水とトイレを世界中に		陸の豊かさも守ろう
	エネルギーをみんなに　そしてクリーンに		平和と公正をすべての人に
	働きがいも経済成長も		パートナーシップで目標を達成しよう
	産業と技術革新の基盤を作ろう	○それぞれの目標ごとに目標の色が決められています。	

【ことばの意味】（○の中の数字は目標の番号です。）

①貧困	貧しく困るさま。教育、仕事、食べ物、保健医療、飲み水、住む家、エネルギーなど最も基本的な物やサービスを手に入れられない状態のこと。
②飢餓	食べ物不足、飢えること。飢え。長期間にわたり食べられず栄養不足となり、生きることと生活がむずかしくなっている状態。
③福祉	しあわせやゆたかさ、みんなが幸せになれるように取り組む活動や仕組み。
⑤ジェンダー	男性と女性の役割の違いによって生まれる性別。みんなが無意識に決めつけている女性と男性の違い。
⑦エネルギー	仕事をする能力のこと。ここでは特に電気やガス、灯油、ガソリンなどのこと。
⑧働きがい	「働きやすさ」と「やりがい」があること。
⑧経済成長	経済の活動が大きくなること。
⑨産業	人々が生活するうえで必要とされるものを生み出したり、提供したりする経済活動のこと。
⑨技術革新	新しいアイデアや仕組み、情報などを取り入れて「社会的な価値を新たに生み出す」ことや「社会や会社にとって有益な変化を起こす」こと。
⑨基盤	おおもとなる物事。基礎。土台。
⑩不平等	平等ではないこと。格差があること。
⑬気候変動	気温、降水量、雲などの変化のこと。日本では、暑すぎる夏や大型の台風、災害が起きるような大雨が問題となっている。
⑬対策	相手に対応するための方法や手段のこと。
⑯公正	合理的判断や言動などがかたよってなくて、正しいこと。
⑰パートナーシップ	同じ考えを持つ人が集まり、力を合わせる。協力関係。



SDGs ができるまで

1 MDGs（エムディー・ジョーズ）から SDGsへ

2000年に国連で採択された「ミレニアム開発目標(MDGs)」の目的を果たすために、多くの国々が努力したことにより、生まれてから5歳までに命を落とす子どもが減り、前より多くの子どもたちが学校に通えるようになりました。国際社会の努力がこのような成果につながりました。

しかしMDGsの目的を果たす年、2015年が近づくにつれて、取り残された子どもたちがいることや、差が大きくなっていたり、MDGsではまかないきれない、果たすべきことがあることも分かってきました。

【採択: いくつかあるものの中から選んで取り上げる】

2 SDGsの採択

2015年9月、「国連持続可能な開発サミット」がひらかれ、150を超える国の代表者が参加して、MDGsを受け継ぎ、2030年までの新しい目標となる「持続可能な開発目標(SDGs)」(2030アジェンダ)が国連で採択されました。

【アジェンダ: ブランや計画のこと】

17の目標と169のねらいからできているSDGsは、誰ひとり取り残さずにすべての人のための目標の達成をめざし①MDGsで目的を果たすことができなかったこと、②MDGsには含まれていなかったこと、③新たに浮かんだこと、を含んだ、世界中のどの国もが取り組むべき目標となっています。

出典　日本ユニセフ協会HP持続可能な開発目標（SDGs）より要約

5つのP

SDGsは5つのまとまりに分けることができます。5つのPはSDGsの計画(2030アジェンダ)のはじめに持続可能な開発の大切な考え方として掲げられています。

1 People 人間

すべての人が人間らしく、等しく、差別なく生きられ、健康な環境の中で持っている力を発揮できるようにする。



2 Prosperity 豊かさ

すべての人間が豊かで充実した暮らしが送れるようにする。また、経済・社会・技術が自然と調和しながら発展していくようにする。



3 Planet 地球

今だけではなく、将来の人々も使えるように天然資源を守りながら、ものを作り、利用し、気候変動にもすぐに対応しながら地球を破壊から守る。



4 Peace 平和

恐怖や暴力のない、平和で、公正で、誰もが安定して暮らし続けられる世界を目指す。



5 Partnership パートナーシップ

地球上でとても貧しく困っている人たちに対して、世界の国々や関係者やすべての人が一緒になって、この行動計画を実現する。



出典　国連　持続可能な開発のための2030アジェンダより要約

